

# 平成 30 年度 京都市域地域医療構想調整会議（A ブロック会議）

## の開催概要（第 3 回）（平成 31 年 1 月 21 日）の審議内容

### 開催日時

平成 31 年 1 月 21 日（月曜日） 14 時から 16 時まで

### 開催場所

京都府医師会館 3 1 0 会議室

### 出席委員

出席者名簿のとおり（41 名）

### 審議の概要

### 報告事項

#### （1）「地域における各病院の役割について」発表

- ・資料（別紙）により、病院から発表

#### （2）「各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること」発表

- ・資料（別紙）により、各団体から発表

#### <主な発言>

（在宅医療としての課題について）

- ・在宅は少ない人数でやっているが、意外と時間がかかるものという認識がある。
- ・施設系のみでのサービス提供となっている。勤務医に時間外の往診等への理解が得られない。
- ・普通の当直と往診のための当直と 2 つの待機をされていて負担が大きい。
- ・開業医も 24 時間 365 日の在宅対応をしており、夜間、休日が課題となっている。与謝野町では夜間、休日は北部医療センターが診療するという取組もあると聞いている。
- ・在宅を担う医師のバックアップ体制の構築、在宅医療にいかにつなげるか、スムーズな移行がポイント。
- ・左京区では、エリアによって入院先に困るケースがある。行政区をまたいで探すこともある。

(在宅医療・介護支援センターについて)

- ・北区医師会より仕組み等について説明。
- ・左京区医師会は来年からの開始に向けて準備中。

(訪問歯科の取組について)

- ・医療的ケア児の訪問歯科ケア件数が増加している。

<主な発言（全体を通して）>

- ・（歯科医師会に対して）夜 10 時に顎関節症の患者について、救急受け入れ先を探したが、見つからなかったというケースがあった。
- ・歯科医師による顎関節症の往診はされているか。
  - 往診体制はとれていない。
  - 口腔サポートセンターで検討する。
- ・難病患者の口腔ケアについて、病院で指定をお願いしたい。
- ・（多職種連携において）面談室、カンファレンスの場の確保（多種が入るスペース）等環境整備も重要。
- ・訪問看護ステーションを通じて、かかりつけ医への連絡が来て助かっている。
- ・今後は、より早期の退院相談が大事になっている。かかりつけ医がいない患者への対応をどうするのかという視点を持っていきたい。

### (3) 連絡事項

- ・次回が今年度最後のブロック意見交換会となる。
- ・未発表の病院、各団体には資料の作成及び発表をお願いします。
- ・病床機能報告の提出（提出したかどうかの確認）をお願いします。